

『その他』

(これまでの御社の実績等を踏まえ、当市の新庁舎建設に必要な課題について独自に設定)

赤瓦屋根と緑が作る新しいまちの顔

防災公園との一体的なランドスケープデザイン

平時に憩いの場となる防災公園は、**庁舎と一体的にデザイン**することで**観光客の誘致や市民利用**を促す計画とします。建設時に排出される**残土を防災公園の築山**に利用することで、**建設コストの削減**を図ります。築山は平坦な空港跡地に**有機的な地形**を生み出し、潤いある豊かな景観を創り出すとともに、**台風時には防風林**として、**津波時には緩衝帯**として**市民を災害から守ります**。



空港跡地利用計画の柔軟性を高めるヘリポートの移設

ヘリポートを**公用車・職員駐車場の屋上**に移設することにより、**現状の空域設定方向を変えないまま、庁舎の建設**を行うことが可能です。また、**周辺隣地の高さ条件を緩和し、より柔軟なまちづくりを進める**ことが出来ます。



潤いと奥行きを生む豊かな植栽計画

敷地外周や駐車場の区画に**グック**を計画し、**ヤエヤマヤシ、サキシマツツジ、ヤエヤマコクタン、リュウキュウマツ**など親しみのある**在来樹木**を植樹します。また、**デイゴ**などの**記念樹木**も積極的に移植します。



赤瓦屋根とグックの集まり

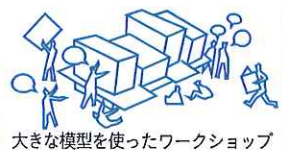


整形の大きな庁舎ではなく、**複数のグックと赤瓦屋根が寄り添った庁舎**とし、「**集える市役所**」を表現します。**隅棟を廻し、軒高を抑えたビューアンスケールな建築**です。

一緒につくる開かれた設計プロセス

・**庁舎の使い方やまちづくりの在り方**について、市民や利用者の意見を**確認する市民ワークショップ**を開催し、**利用者の視点を重視したデザイン**を行います。ワークショップでは、より多くの地域の方々**が施設に対して興味**をもていただけるように、**設計の進行に合わせてイメージパースや大きな模型**を用いて、**子供達からお年寄りまで幅広い層の市民参加**を促し、様々な意見を**集め、デザインに反映**させていきます。積極的に市民参加の機会を設けることで、**施設の支援ボランティアやコーディネーターとなる人材の育成**も視野に入れつつ、**市民の皆様それぞれが携わった施設**として、**長く親しまれる施設づくり**を目指します。

・**地震で被災した地域のまちづくり**を初め、**世界各国のまちづくりの経験**を活かし、**庁舎の設計のみならず、地域を活性化**するまちづくりとしての**庁舎のデザイン**を提案します。



大きな模型を使ったワークショップ



パースを見ながらの意見交換会